

# 松帆小学校の改築工事が完成

## 9月末に完成する学校施設の工事

### 湊小学校地震補強及び大規模改造



- ◆建物規模 鉄筋コンクリート 2階建 1,727㎡
- ・鉄骨ブレース補強3か所、補強壁9か所
- ・エレベーター・防犯設備設置
- ・外部のサッシ全面取替えなど老朽設備の改造等
- ◆総事業費 1億9,297万円
- ◀地震補強と改修工事中の校舎

### 福良小学校地震補強及び大規模改造



- ◆建物規模 鉄筋コンクリート 3階建 4,759㎡ (2棟)
- ・鉄骨ブレース補強17か所、柱補強5か所、補強壁4か所
- ・エレベーター設置、外壁防水塗装、防犯設備
- ◆総事業費 1億5,932万円
- ◀エレベーター棟(右側)を増設

### 賀集小学校地震補強及び大規模改造



- ◆建物規模 鉄筋コンクリート 3階建 3,130㎡ (3棟)
- ・鉄骨ブレース補強7か所
- ・エレベーター設置、外壁防水塗装、防犯設備
- ◆総事業費 1億2,668万円
- ◀防水・外壁塗装中の校舎

### 南淡中学校大規模改造



- ◆建物規模 鉄筋コンクリート 3階建 4,216㎡ (管理棟)
- ・外部防水塗装、床材張替え、サッシ建具取替、建具塗装、防犯設備
- ◆総事業費 2億3,373万円
- ◀全面改修がほぼ完了した管理棟

**小中学校の地震補強工事**  
 学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、快適で十分な安全性や防災性、防犯性を持ち、衛生的な環境が必要です。また、生涯学習や文化、スポーツなどの活動の場として利用される地域コミュニティの拠点となり、地震等の非常災害時には避難場所として利用される地域の防災拠点としても重要な役割を担っています。

**耐震化の推進**  
 新耐震設計法(昭和五十六年六月施行)前の基準により建築された校舎等の建物について耐震診断を行いました。南あわじ市では、この結果に基づき、改修の必要がある学校施設の補強工事を推進し

ています。  
 補強方法としては、耐震ブレース(鉄骨の筋交い)や壁・柱の補強を行い、耐震基準値をクリアします。



▲耐震ブレース



▲2階オープンスペース周辺には本棚を設置



▲松帆小学校南校舎

改築前の松帆小学校南校舎は、昭和三十六年に新築、同四十一年に増築、同六十二年に改造工事が行われました。阪神淡路大震災の後、耐力度調査で構造上危険であると判定され、建替えを行いました。新校舎建築にあたっては、「地域住民と一緒に子どもを育てる」をテーマに、地域に開かれ、交流を図ることができ、施設を整えました。また、地元特産の瓦を屋根に使用、教室内には木材を使用しています。安全対策として、防犯カメラや非常ベルを設置し、



▲260人が食事をとることのできる多目的視聴覚室

### 松帆小学校改築及び大規模改造

- ◆建築面積 2,206㎡
- ◆構造 鉄筋コンクリート3階建瓦葺
- 1階 校長室、職員室、保健室、会議室、教育相談室など
- 2階 家庭室、図工室、理科室、メディアスペース
- 3階 多目的視聴覚室(ランチルーム) 設備 エレベーター、防犯カメラ
- ◆総事業費 6億4,317万円



▲子どもたちを見守る防犯カメラ

不審者の侵入防止に万全を期しています。



屋根瓦(平成18年7月18日)



2階天井の鉄筋(平成18年4月19日)



1階の型枠組立て(平成18年2月24日)



校舎を支える118本の基礎杭(平成17年11月22日)



長さ7mの基礎杭を打設(平成17年11月10日)



旧校舎の取り壊し(平成17年10月1日)

松帆小学校の  
工事